

□ 要請番号 (SL10622D02)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
フィジー	C401 水産開発		個別	新規	2年	・ 2023/2 ・ 2023/3 ・ 2023/4 ・ 2024/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

教育・遺産・芸術省

2) 配属機関名（日本語）

南太平洋大学 農業・地理・環境・海洋・自然科学部 海洋学科

3) 任地（スバ市） JICA事務所の所在地（スバ市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（徒歩で約時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

南太平洋大学(USP)は1968年に地域島嶼国12か国によって設立された総合大学で、経済学、商業・経営学、IC・理工学、法学、人文・教育学と、農業・地理・環境・海洋・自然科学(SEGEONS)の6学部を有する域内最高水準の高等教育機関である。SAGEONSには4つの学科があり、そのうちの1つである海洋学科では、水産加工、養殖、資源管理、海洋生物保護等の水産および海洋全般に関わる教育、研究が行われている。専門家、ボランティアの派遣、JICAによるICT設備支援の他、本邦研修生も多く輩出しており、日本との関係は深い。HP:<https://www.usp.ac.fj/discipline-of-marine-studies/>

【要請概要】

1) 要請理由・背景

フィジーをはじめとする大洋州島嶼国では、海洋資源管理が課題の一つとなっており、政府としても養殖に力を入れて取り組んでいる。USPの海洋研究センターは日本の協力により整備が行われ、域内の水産分野の人材育成の点で必要な役割を占める研究・教育環境となっている一方で、学内の関連施設の活用や養殖分野の実験・研究活動のより一層の高度化、活性化が求められている。これまで、水産養殖での種苗供給が安定しないなどの課題に対し、シニア海外ボランティアを派遣し、種苗生産技術向上への協力が行われてきたが、引き続き施設の維持管理と技術支援、研究・教育機能のさらなる強化に向けて指導が行える人材が求められ、要請に至った。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

持続可能な沿岸資源のための養殖振興実現を目標に、大学スタッフと協働で以下の養殖関連研究の実施支援を行う。

1.実験、プロジェクト用器具、種苗生産設備や資機材(水槽、水循環装置、配管等)の設置及び保守管理を行う。

2.研究や教育に向けた種苗生産管理、交配を行う。

3.学生や職員の研究・教育活動を支援する。

4.研究施設内の実験の観察やデータの収集・管理を行う。

JICAの技術協力プロジェクト「太平洋島嶼国のSDG14『海の豊かさを守ろう』プロジェクト」との連携も期待されている。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

養殖タンク(100L、1トン、2トン)、水質検査キット、ポンプ、マイクロスコープ、サーモスタット等の各種計器、分析機器、ブレンダー他

4) 配属先同僚及び活動対象者

【配属先同僚】 海洋学科講師陣
・教授 1名(男性50代)
・准教授 2名(男性、女性)
・上級講師1名(男性) ・講師3名(男性2名、女性1名)
・研究室秘書(女性30代)
【活動対象者】 同学科の学生

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:A)

【資格条件等】

[免許]：（ ） [学歴]：（修士）理工系 備考：大学での指導に必要
[性別]：（ ） 備考： [経験]：（実務経験）15年以上 備考：実践的な内容の指導に必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（20～35℃位） [電気]：（安定）
[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（安定）

【特記事項】